

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

3790-1523



発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

区議団 e-mail info@jcp-shinagawa.com

区議会代表質問で 南 恵子

区長に 貧困と格差を問う

2月20日から今年初めての区議会が始まりました。代表質問は南恵子が施政方針と高齢者医療無料化を取り上げました。貧困と格差問題は、一層の深刻さが現れている時、自治体の姿勢が問われますが、区長は答弁しませんでした。

貧困と格差は 雇用破壊と社会保障の 改悪が原因

南は、格差と貧困の原因は大きく分けて二つあると指摘しました。一つは小泉内閣以降、構造改革により社会保障費を毎年2200億円も削減し、医療、年金、介護、障害者福祉を連続後退させこと。その上、4月からは後期高齢者医療制度が一層の負担増と医療差別を強めます。ある高齢者は「戦争が終わったときは20才。戦後の復興期に青春時代を過ごし必死に働いて子どもを育ててきたのに・・・この制度は国に死ねといわれているようで悔しい」といいます。

二つ目は、派遣労働法を拡大して不安定雇用を広げ、労働者を物のように使い捨てる「日雇い」派遣や、派遣労働を常用雇用の代替にしてはいけないという政府の約束に反して名だたる大企業が常用雇員を減らし派遣や請負などを増やしてきたからです。

大企業には大減税

国民には社会保障を切り下げ増税を押し付けながら、空前の利益を上げている大企業には規制緩和と大減税です。20年前の法人税は43%でしたが今は30%です。

区民が不安を抱えているのに痛みとして感じていない

このままでは貧困と格差はますます広がるばかりです。自治体の仕事はまず「住民の命と暮らしを守る」とを第一に取り組むべきで、今こそ区民を守るといふ行政に姿勢が問われています。しかし、施政方針には生活苦にあえいでいる区民の存在や貧困と格差から区民を守るといふ記述は全くありません。

自治体本来の生活を応援する区政

区の政治にも原因が。第一に、行政改革の名による人件費削減と民間委託で低賃金の派遣労働を増やし続けてきました。子どもの命と健康に

直結する学校や保育園の給食を丸ごと民間委託するのはあまりにも無責任です。

第二は、福祉を徹底して切り下げてきました。特別養護老人ホームの建設を7年間もしてこなかったこと、介護保険料の設定を6段階にとどめ負担を大きくしたこと、福祉タクシー

券の支給対象を拡大したものの23区最低の2300円にとどめ、紙おむつの支給は23区最低の3000円相当で入院時に現金支給していないのは品川と他に1区だけです。また、

心身障害者福祉手当は1万円前後がほとんどの中、品川区は最低の4500円。難病手当も同様に最低の1万円にとどめています。

また、区営住宅建設は他区に比べて遜色ないといつて建設せず、福祉にはことごとく背を向ける姿勢を貫いています。

健全財政と誇れるのか

その結果、06年度は114億円もの税

金を余らせて積み立てをしましたが、「健全財政だ」と自慢できるでしょうか。私は、貧困と格差が広がっているときだからこそ、区民生活の現実をしっかりと見て、福祉を削り続ける区政運営ではなく、自治体本来の生活を応援する区政に立ち返ることを強く求めます。

質問 雇用の破壊と社会保障改悪などが貧困をつくっているが、区長はどう思うか。

区長の代わりに答弁した企画部長は、「政治の責任か個人の責任かは単純に割り切れない」と逃げましたが、生活保護世帯が3800世帯を17・18年度続いていることをどうとらえているのでしょうか。

質問 消費税増税に区長は明確に反対を

区長の答弁はいつもと同じ「消費税は国政問題。議論を見守る」でしたが、傍観者でいるときではないと

思い残念です。

八潮南小学校と八潮南中学校に特養ホームを

八潮の住民団体「八潮南小学校、八潮南中学校の跡に特別養護老人ホーム建設を願う会」が450数名の署名を添えて区議会に請願を提出。2月28日のまちづくり特別委員会で審査をしました。しかし、自民・公明・民主・西本議員など与党会派が否決。理由は、地域で検討している最中に結論を出せないというものですが、それなら、『継続』扱いという方法もあります。南はそういう扱いが出来ることをあえて発言し、慎重に検討するべきだと主張しましたが、こぞってつぶしました。

2月28日のまちづくり特別委員会は、午前は八潮南小学校と中学校を視察し、その後、八潮地域センターで『八潮まちづくり検討会』の代表者の方々と懇談をしました。懇談でわかったことは、特別養護老人ホームの要望が八潮まちづくり検討会にも入っていたことでした。

午後の委員会は、八潮南小学校、八潮南中学校の跡に特別養護老人ホーム建設を願う会が集めた請願の審査でした。

特養ホームは区が募集するたびに400人も応募するものの入所はわずか60人で、緊急焦眉の課題です。

特養ホーム建設は、八潮まちづくり検討会と「願う会」などの住民の共通する願いです。また、区長も『検討する』という姿勢に変わりました。反対する議員は、街の議論を見守ろうと言うならまだしも、つぶしたのですから地域や住民の意見をどう聞いたのでしょうか。区民からは不誠実と受けとられても弁護しようがありません。

このニュースをお読みになつて、ご意見やご要望などありましたら、お気軽にお寄せください。電話(3790)1523